

みどりの推進課報告事項(9月)

平成こども塾プログラム

平成30年9月21日現在

No.	日(曜日)		プログラム名	定員	子ども	大人	未就学	備考
1	1	土	こどもファーム	年間会員35	0	0	0	
2	2	日	和紙と竹のあんどん作り	15	11	15	0	
3	8	土	こどもファーム	年間会員35	16	14	6	
4	8	土	里山冒険クラブ(午前) 「ナイフ作り」打つ	年間会員25	25	25	3	
5	8	土	里山冒険クラブ(午後) 「ナイフ作り」研ぐ	年間会員25	22	22	2	
6	9	日	暮らしの道具作りと料理教室 「木のバスケットとサバサンド作り」	年間会員28	27	21	2	
7	15	土	こどもファーム	年間会員35	18	16	4	
8	15	土	トンボを知ろう	20	3	2	1	
9	16	日	竹トンボ作り	25	4	4	1	
10	20	木	里山を考えるワークショップ	28	0	23	0	
11	22	土	こどもファーム	年間会員35				実施予定
12	23	日	栗拾い	40				実施予定
13	29	土	キッズ放送隊 猫まつり放送(瀬戸会場)	年間会員16				実施予定
14	29	土	稲刈り(終日)	年間会員35				実施予定
15	29	土	ネイチャーゲーム	年間会員19				実施予定
16	30	日	里の生きものを見つけよう	20				実施予定

学校連携プログラム

No.	日(曜日)	プログラム名	子ども	大人	備考
1	5日(水)～7日(金)	南小5年(カレーライス作り)	112	8	
2	26日(水)～11月4日(水)	市小3年(おこしもの作り)			実施予定

※アンケートは回答待ち

平成30年度平成こども塾事業進捗状況管理表

	事業名	課題	目標	実施項目	進捗状況・結果	年間スケジュール												備 考
						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1	学校連携プログラム実施事業	現在の生活の中では、児童同士や世代を超えたコミュニケーションが難しくなっている。	満足度90%から95%を保ち続ける。 (学校連携プログラム数:全67回)	・チームによる活動を重視し、共同作業・助け合いを行うことによりコミュニケーション能力を高める。 ・里山の自然環境や地域の文化を学びながら楽しく充実した体験活動を実施する。	満足度 - (今月分、回答待ち)	事前打ち合わせ		学校連携プログラムの実施		現職教育研修		学校連携プログラムの実施			学校連携プログラムの実施		次年度実施内容・日程等調整	
2	サポータープログラム実施事業	自然体験活動や地域の伝統文化を体験する機会が減っている。	満足度90%から95%を保ち続ける。 (サポート隊委託プログラム、サポーター自主プログラム数:110回)	・体験プログラムを班分け時に工夫し、異年齢交流の促進を図る。 ・里山の自然環境や地域の文化を学びながら楽しく充実した体験活動を実施した。	天候に左右されやすい屋外プログラムが多いため、 ①雨天時に臨機応変に対応した。(雨プログラムで対応した) ②好天・雨天ともに参加者が楽しめるよう事前打ち合わせを綿密にした。 ③講師に任せきりにならないよう、職員も子どもの観察・見守りを行った。 満足度 85.5%	世話人会				プログラムの実施								
3	サポート隊員育成事業	サポート隊員の後継者が育っておらず、高齢化が進んでいる。	新規加入者2名を目指す。	・新規加入者を増やすための、大人のプログラムの実施。(南木曾木工教室を10/28に実施予定) ・「里山活動を考えるワークショップ」での勧誘(5回予定) ・口コミ勧誘の継続	・「里山活動を考えるワークショップ」と協働し、参加者をこども塾の活動に勧誘する。 ・社会人の荒木氏という方(30～40歳台)も、この春から定期的にこどもファームに参加しており、経過を見守っている。	大学生男子:プログラム内容を検討		里山活動を考えるW.S. →				大人プログラム実施						